

取り扱い事例

▶ トンネル工事

Bluetooth 通信器のテスト使用結果をご報告いたします。

* 通信器2台をリンクした状況です。

<結果>

①通信距離(トンネル断面積約 70m²)

- 1)直線区間…約 800m
- 2)曲線区間…約 350m(R250m)

②騒音、ノイズ

- 1)ジャイアントブレーカー騒音状況下でもまったく拾わずに使用可能
- 2)トンネル作業用電動式防塵マスク着用下でもクリアに声を拾える

<考察>

①通信距離

- 1)直線区間は約 800m でしたので、カタログスペックより劣りますが通常使用で全く問題ありません。
- 2)曲線区間は約 350m でしたが、本トンネルの曲率が R250m と非常にきついものなのでこの影響が大きいと考えられます。

しかしながら、主に使用を考えているトンネル測量では曲線区間は 300m 程度つなげれば十分なので通常使用に問題はないかと思えます。

また、曲率 R250m のトンネルは基本的にあまり多くありませんので、他現場では 500m 程度になるのではと思います。

②騒音、ノイズ

- 1)ジャイアントブレーカー騒音状況下でも全く問題ありませんでした。

しかしながら、要望をあげるとするとイヤホンがもう少し取付易いというか、もっと耳の中に入るようにしてほしいと思います。

理由は、①騒音対策の耳栓代わりに使用するため、②耳の奥に入らないので基本的に小さく聞こえてしまっている。

- 2)トンネル作業用電動式防塵マスク着用下でもクリアに声を拾える

これは非常に素晴らしいです。

普通マスクによって声がどうしてもこもってしまう、小さくなってしまうため、

トンネル坑内の粉塵状況下でもマスクを外して会話する必要がでてしまうのですが、

マスクでこもる前に声を拾っているため、マスクを外す必要がない！
これはトンネル坑内で使用する上で非常にアピールできるポイントであると言えます。

<まとめ>

- ・トンネル坑内での使用は問題ありませんでした。
- ・それに加えて防塵マスクを外すことなく使用できるという非常に良い点も見つかりました。
- ・できれば、当現場でも導入を検討したいと思っておりますが、先日お伝えしました「防塵」レベルは確認できましたでしょうか。防塵レベルを確認できる資料などをいただけますか。

よろしく願いいたします。